

## 編集後記

この度、初めて歯学部ニュースの編集委員を務めさせていただきました。作業を行う中で、歯学部ニュースが毎回テーマの選定から始まり、原稿を書いてくださる皆様のご尽力によって成り立っていることを実感いたしました。陣頭指揮を執ってくださった編集長の真柄先生に感謝いたします。新入生への原稿依頼が多かったのですが、学生さんたちの活気のある様子が伝わってきて、私も刺激を受けました。最後になりますが、原稿執筆に快くご協力いただきました先生方および学生さんに厚く御礼申し上げます。

微生物感染症学分野 土門 久哲

これまで歯学部ニュースには寄稿する側として何度か参画させていただいておりましたが、今回は初めて依頼するという立場から発刊に携わせていただきました。真柄編集長の類稀なるリーダーシップのおかげで、編集委員としてだいぶ楽をさせていただいたと思っております。歯学部ニュースは、在学生の保護者の皆様へも発送されますし、オンライン上でも公開されておりますので、私たちの日常をステークホルダーの皆様へ発信する素晴らしい取り組みだということを改めて感じました。ご寄稿いただいた皆様、本当にありがとうございました。

歯科矯正学分野 丹原 惇

This is the first time I participate in the editorial committee of the "Shigakubu Nyu-su" (Dental Faculty News) magazine. As a foreigner, it has been an interesting and challenging task. At the beginning, I was concerned about how to manage the assignments. However, thanks the wonderful work of the organizers and in particular to Dr. Magara it was manageable and easy to understand. I would like to thank all the professors, doctors and students that contribute with their manuscripts and made this edition of the magazine possible. I truly hope that all readers enjoy the stories, thoughts, and comments of all the people that are part of our beloved Niigata Dental Faculty.

Division of Bio-Prosthodontics Rosales Marcelo

この度、歯学部ニュース編集委員を担当させて頂きまずはお忙しい中ご執筆して頂きました皆様に御礼申し上げます。歯学部ニュースは青い猫のポケットの中からメガネの少年のために完成品が取り出されるという便利なものではなく、原稿内容の決定、執筆者の皆様へ依頼・快諾・執筆、校正を行い読者の皆様の手元に届くようになっております。編集後記にまで目を通される方がどの程度いらっしゃるかは分かりませんが執筆者および編集者の血と汗と涙の結晶が詰まった一つの読み物として最後まで読破して頂ければ幸甚です。編集長はじめ編集員の先生方お疲れさまでした。また、ここまで目を通して下さいました読者の方、大変ありがとうございました。次号もご期待下さい。

摂食嚥下リハビリテーション学分野 渡邊 賢礼

初めての歯学部ニュース133号の編集、取りまとめの担当に際し、コンテンツを検討すべく他大学歯学部HPで公開されている広報誌や、歯学部ニュースの過去のバックナンバーを眺めてみました。そこで感じたことは、今皆様をご覧いただいている歯学部ニュースという広報誌は、他大学歯学部広報誌に類をみない重厚さがあることです。また、デジタル化された過去のバックナンバーからは20年以上の新潟大学歯学部の活動を垣間見ることができ、教育、臨床、研究の環境設備の充実化が絶えず図られてきた新潟大学歯学部の歴史と、学生から教職員までの高いアクティビティーの変遷を伺い知ることができます。ご多忙の中、そのページを綴る寄稿に御協力を頂きました教職員、大学院生、学生の皆様には心より感謝申し上げます。

摂食嚥下リハビリテーション学分野 真柄 仁